

## 8.4 緑

### 8.4.1 調査事項

調査事項は、表 8.4-1 に示すとおりである。

表8.4-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度</li> <li>・緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存緑地の改変の程度</li> <li>・緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化計画は、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約50,000m<sup>2</sup>、接道部緑化延長約1,170m）を満たす地上部緑化約82,000m<sup>2</sup>、接道部緑化約1,280mとする計画としている。</li> <li>・辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木、中木等を植栽する計画としている。</li> <li>・植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定する計画としている。</li> <li>・計画地の北側及び東側の緑地帯はマウンドを設け、現状の平坦な風景に大きな変化を与えるほか、建築物の足元をマウンドによりカバーし、緑による周辺に優しい風景をつくりあげる計画としている。</li> <li>・周辺に広がる豊かな緑などの自然が感じられるよう、計画地南側には辰巳の森海浜公園とともに一体的な空間としてやすらぎのある場をつくり出す計画としている。</li> <li>・既存樹木については伐採予定であるが、樹木の状況を確認した上で、移植等について検討する。</li> </ul>

### 8.4.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

### 8.4.3 調査手法

調査手法は、表 8.4-2 に示すとおりである。

表8.4-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度</li> <li>・緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度</li> </ul>	
調査時点	東京2020大会の開催後(2021年度)とした。	
調査期間	予測した事項	施設竣工後の2022年2月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後の2022年2月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後の2022年2月とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況及び緑化計画図の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。

#### 8.4.4 調査結果

##### (1) 調査結果の内容

##### 1) 予測した事項及び予測条件の状況

##### ア. 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度

事業の実施に伴い、計画地内の植栽樹が伐採されたが、図 4.2-6（p.14 参照）に示すとおり計画地内には辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木及び地被類による植栽を行う予定である。植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定した。

したがって、事業の実施前の辰巳の森海浜公園と同様の植栽内容になるものとする。

##### イ. 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度

事業の実施に伴い、計画地内の落葉針葉樹（ラクウショウ）、常緑広葉樹（トウネズミモチ）、落葉広葉樹（ハリエンジュ、アオギリ）等の約 15,000m<sup>2</sup>の緑地が伐採されたが、図 4.2-6（p.14 参照）に示すとおり、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m<sup>2</sup>、接道部緑化延長約 1,170m）を大幅に上回る地上部緑化約 81,400m<sup>2</sup>（うち、計画地は約 3,600m<sup>2</sup>）、接道部緑化約 1,173m（うち、計画地は約 260m）の緑地を整備することにより、十分な量の緑が確保されるものとする。

## 2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.4-3 に示すとおりである。なお、緑に関する問合せはなかった。

表8.4-3 ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・緑化計画は、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m <sup>2</sup> 、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 82,000m <sup>2</sup> 、接道部緑化約 1,280m とする計画としている。
実施状況	緑化計画は、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m <sup>2</sup> 、接道部緑化延長約 1,170m）を大幅に上回る地上部緑化約 81,400m <sup>2</sup> （うち、計画地は約 3,600m <sup>2</sup> ）、接道部緑化約 1,173m（うち、計画地は約 260m）の緑地を整備する。
ミティゲーション	・辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木、中木等を植栽する計画としている。
実施状況	辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木及び地被類による植栽を行い、緑の量の確保に努める計画である。
ミティゲーション	・植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定する計画としている。
実施状況	植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定する予定である。
ミティゲーション	・計画地の北側及び東側の緑地帯はマウンドを設け、現状の平坦な風景に大きな変化を与えるほか、建築物の足元をマウンドによりカバーし、緑による周辺に優しい風景をつくりあげる計画としている。
実施状況	計画地の北側及び東側に緑地帯を設け、緑による周辺に優しい風景をつくりあげる計画である。
ミティゲーション	・周辺に広がる豊かな緑などの自然が感じられるよう、計画地南側には辰巳の森海浜公園とともに一体的な空間としてやすらぎのある場をつくり出す計画としている。
実施状況	周辺に広がる豊かな緑などの自然が感じられるよう、計画地南側には辰巳の森海浜公園とともに一体的な空間としてやすらぎのある場をつくり出す計画である。
ミティゲーション	・既存樹木については伐採予定であるが、樹木の状況を確認した上で、移植等について検討する。
実施状況	既存樹木については伐採予定であったが、樹木の状況を確認した上で、計画地南側の既存樹木のソメイヨシノの6本を、平成29年1月に、辰巳の森海浜公園の南西に位置する辰巳の森緑道公園内に移植した（FU報告書（大会開催前その2）で報告済み）。

## (2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

## 1) 予測した事項

## ア. 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度

事業の実施に伴い、計画地内の植栽樹が伐採されたものの、周辺地域との連続性を確保した緑地を新たに整備することにより、事業の実施前と同様の植栽内容になるものとする。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。

## イ. 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹や落葉広葉樹等の約 15,000m<sup>2</sup>の緑地が伐採されたものの、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m<sup>2</sup>、接道部緑化延長約 1,170m）を大幅に上回る地上部緑化約 81,400m<sup>2</sup>（うち、計画地は約 3,600m<sup>2</sup>）、接道部緑化約 1,173m（うち、計画地は約 260m）の緑地を整備することにより、十分な量の緑が確保されるものとする。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。